

平成 26 年 12 月 19 日

報道関係各位

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ)

ソフトウェア品質の第三者適合性評価である PSQ 認証制度 新評価基準により、3 社 4 製品がクラウドで初めて認証！

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（略称「CSAJ」、港区赤坂）は、ソフトウェア製品の品質を第三者が評価する PSQ 認証制度において、12 月 18 日（木）に第 7 回判定委員会（委員長：東 基衛氏（早稲田大学 名誉教授））を開催し、その結果、3 社 4 製品がクラウド製品として初めての PSQ 認証を取得しました。

製品名	申請企業
QuickBinder for iAP	クイックバインダー株式会社
kintone	サイボウズ株式会社
やよいの青色申告オンライン	弥生株式会社
やよいの白色申告オンライン	弥生株式会社

PSQ 認証制度では、これまでパッケージソフトウェア製品を中心に認証してまいりましたが、今後ますます広がりを見せるクラウド製品の認証をすることで、さらに多くの需要に応じていくものです。

また、本制度が準拠している国際規格 ISO/IEC25051 は、今年の改正により「利用時の品質」に重点が置かれ、CSAJ ではこの改正に基づく新評価基準を策定しました。その新評価基準によるトライアル評価を実施、今回の判定委員会において 3 社 4 製品を認証しました。

トライアル評価は、平成 27 年春の正式リリースを予定している ISO/IEC25051:2014 対応 PSQ 認証に向けて手順や必要書類を整備するためのものであり、上記 4 製品はその先行認証となります。

<製品概要>

- ・「QuickBinder for iAP」：クイックバインダー株式会社の文書管理ソフトウェア（NTT データイントラマート上から提供）
- ・「kintone」：サイボウズ株式会社のビジネスアプリ作成プラットフォーム
- ・「やよいの青色申告 オンライン」：弥生株式会社の確定申告向けクラウド会計ソフト
- ・「やよいの白色申告 オンライン」：弥生株式会社の確定申告向けクラウド会計ソフト

また、トライアル評価の期間について当初平成 26 年 12 月までとしておりましたが、トライアル開始の発表から多くの問合せを受け、現在も申請準備中の企業があることから平成 27 年 2 月まで延長することとなりました。

<添付資料>

- 1:パッケージソフトウェア品質認証制度（略称：PSQ 認証制度）について
- 2:ISO/IEC 25051の改正内容について

<第7回判定委員会 認証製品一覧>

認証製品名	QuickBinder for iAP
バージョン	Version 8.0.1
企業名	クイックバインダー株式会社
認証番号	PSQ-Q2014007
認証日	平成26年12月18日

認証製品名	kintone
バージョン	Version 4.11
企業名	サイボウズ株式会社
認証番号	PSQ-Q2014008
認証日	平成26年12月18日

認証製品名	やよいの青色申告オンライン
バージョン	Version 1.0.3.112
企業名	弥生株式会社
認証番号	PSQ-Q2014009
認証日	平成26年12月18日

認証製品名	やよいの白色申告オンライン
バージョン	Version 1.0.3.112
企業名	弥生株式会社
認証番号	PSQ-Q2014010
認証日	平成26年12月18日



ISO/IEC 25051:2014

ISO/IEC25051:2014 対応を表明する
新しい PSQ ロゴマーク

<添付資料 1:パッケージソフトウェア品質認証制度（略称：PSQ 認証制度）について>



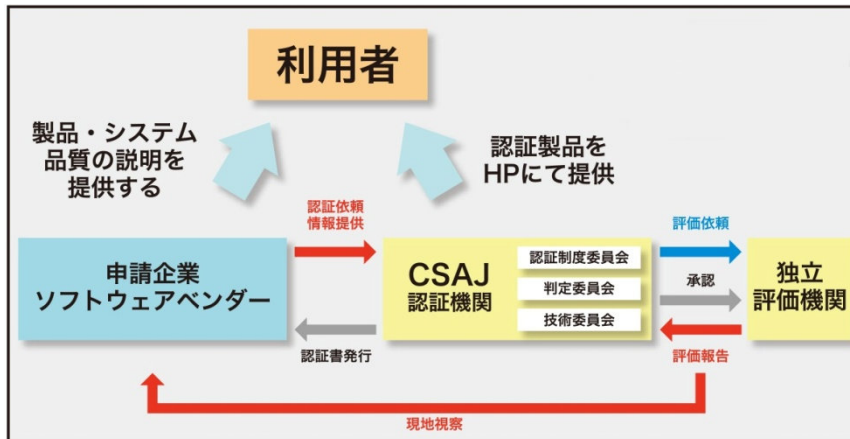
ISO/IEC 25051:2006

<目的>

- ・パッケージソフト製品に関する利用者や市場への品質説明力強化
- ・国際市場における日本製品の品質に関する正当な評価の確立
- ・利用者の潜在的なリスク軽減
- ・ソフトウェア製品の本質的な品質向上

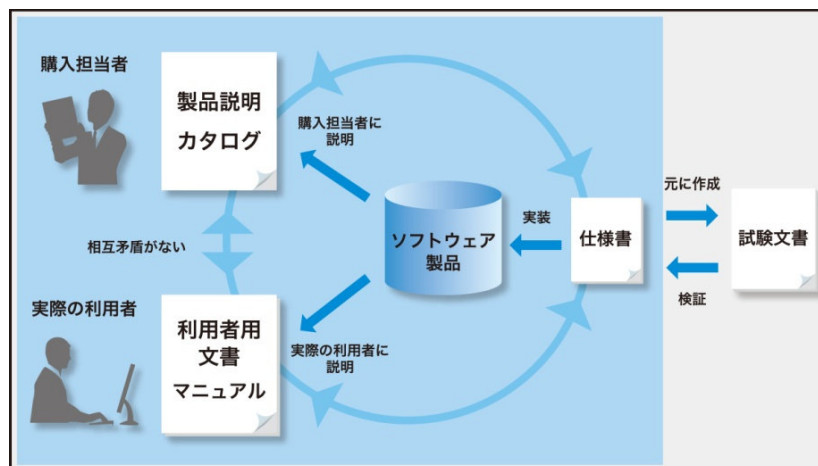
<認証フロー>

申請者は認証機関へ対象となる製品を申請します。認証機関は申請内容の確認後評価機関に評価依頼をし、評価基準に則り評価を実施し、最終的には判定委員会で認証判定を行い、合格したものに対して認証書を発行します。



<認証ポイント>

PSQ 認証制度では、「製品説明（カタログなど）と利用者用文書（マニュアルなど）が国際規格 ISO/IEC25051及び国内規格 JIS X25051に規定されている要求事項に適合していること、およびこれらの文書に記載された内容がソフトウェアとして実現されていることを確認できること」が要件となります。品質ライフサイクルの観点では企画から廃棄までの範囲で品質を考えることもありますが、PSQ 認証制度では組織能力や管理プロセスは審査対象ではありません。また、製品の品質については、「試験文書」を適正に作成し、試験を実施しているかで評価します。



〈パッケージソフトウェア品質認証制度と各種文書の関係図〉

<認証費用>

認証にかかる費用は以下の通りとなります。認証A～Cの違いについては、製品の持つ機能数と評価機関による評価対象となる機能数により異なりますので、事前申請時に金額を提示します。

認証A	50万円（税別）
認証B	75万円（税別）
認証C	100万円（税別）

<添付資料2:ISO/IEC 25051の改正内容について>

ISO/IEC 25051:2014 は、ISO/IEC 25051:2006 を元に、2011 年に改正された ISO/IEC 25010（システム及びソフトウェア製品の品質要求及び評価（SQuaRE）-システム及びソフトウェア品質モデル）に準ずる形で改正されました。その変更内容は主に品質特性の拡張と適用範囲の拡大となっています。

品質特性の拡張については参照元である ISO/IEC 25010 に従う形で変更が加わっており、製品品質特性では、プラットフォームとなる利用端末がパーソナルコンピュータだけではなく、スマートフォンやタブレットまで拡大したことによる「互換性」や、個人情報など特別な情報を取り扱う際には欠かせない「セキュリティ」が新たな品質主特性として定義されました。これは社会的情勢を踏まえた改正と見ることができます。

また、利用時の品質特性についても ISO/IEC 25010 に準ずる形で改正されています。

適応範囲についても社会的な環境の変化を踏まえ、パッケージソフトウェア（商用既成ソフトウェア製品）だけではなく、ウェブサイトからダウンロードしてインストールする製品や、クラウド上のサービスにログインして使用するソフトウェアなどを含めることとしています。

■問い合わせ先

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 PSQ 認証室 e-mail:psq_info@csaj.jp
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-3-6 赤坂グレースビル 4 階
TEL:03-3560-8452 FAX:03-3560-8441 <http://www.csaj.jp/psq/>